

議会広報の全国コンクール結果、事務局の紹介など、前ページまでに伝えきれなかった議会あれこれについてお知らせします。

議会広報コンクール 全国で優秀賞(総合第2位)



メディアも注目

よりよい議会広報づくりをするために、平成26年度もコンクールに応募しました(35号を応募)。その結果、第22回鳥取県町村議会広報コンクールで最優秀賞、第29回町村議会広報全国コンクールで**優秀賞(総合第2位)**となり、新聞やテレビなどでも取り上げられました。

県は3年連続4回目の最優秀賞、全国は2年前に続く2回目の優秀賞第2位です。

コンクール審査員の主な講評を紹介します

【県の講評】

- ・内容の充実さと斬新なレイアウトは秀逸の出来栄である。
- ・見出し・文章の文字は読みやすい大きさで、写真の随所の使用も読者に親切で読みやすい。
- ・「議員討論会」は議員の意見を町民に知ってもらういい企画。特集「かあやま」も住民の地域振興への取り組みがよくわかる。
- ・表紙の組み写真はやや平凡。目玉の写真を大きく、メリハリをつけた方が見栄えがする。

【全国の講評】

- ・写真と見出し記事内容とのデザイン化、質疑と応答の色分けなど、文字情報の視覚化に優れる。
- ・インデックス表示、大きい写真を用いたトビラ紙面など、住民視点での表現を感じる。
- ・特集「議員と語る会」「声」など、企画にアイデアがある。
- ・一般質問は、全問を要約掲載し、議事公開に徹している。
- ・レイアウトなど編集技術も高い。
- ・「読まなければならない」という意気込みが伝わってくる。
- ・「特集」は、活動課題の掘り下げ、「議員と語る会」は、政策立案する議会の存在感が打ち出せると、評価によかった。

町民のみなさんに親しんで読んでいただける、議会のことがよくわかるよりよい紙面を今後も追求し続けたいと考えています。

そのためにも、みなさんのご協力と紙面への率直なご意見・ご要望をお寄せいただければ幸いです。

広報常任委員会

